

# 山本よしかず県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

情熱と行動力で明日の千葉県づくりに全力投球している山本義一県議(八街市選出、3期)は2月定例県議会で登壇し、一般質問を行いました。山本県議は6月に柏市で開催が予定されている全国「みどりの愛護」のつどいについて、その意義を森田知事に質問、また、落花生の増産への取り組みについて、県担当者に聞きました。山本県議の質疑と県執行部の答弁を特集します。

## 全国「みどりの愛護」のつどい 6月、柏の葉公園で開催

### 知事「緑を守り育てる契機に」

#### 2月定例県議会一般質問

山本議員 第27回全国「みどりの愛護」のつどいが、平成28年6月12日に県立柏の葉公園で開催されると発表された。

貴重な緑を守り育て親しむとともに、その恩恵に感謝し、豊かな心を育むことを趣旨として平成元年に「みどりの日」が制定された。その制定の趣旨を踏まえ、全国「みどりの愛護」のつどいが、平成2年度から全国の都市公園で開催されているが、本県での開催は初めてとなる。

体が公園や道路、河川の愛護活動に取り組んでいる。また、八街市の千葉黎明高校が企業と協力し、駅前の花のモニタリングの管理を行っているなど、老若男女を問わず、緑化活動に取り組んでいる。

このような状況の中、緑化の進行はとも大切であり、今回のつどいの開催も意義のあるものにならなければならないと考える。そこでどうか、第27回全国「みどりの愛護」のつどいを千葉県で開催することの意義をどのよう

に考えているのか。知事 全国「みどりの愛護」のつどいは、全国の公園緑地の愛護団体などの緑化関係団体などが一堂に会し、都市緑化への意識を高め、緑豊かな環境づくりを進めるとともに、緑を守り育てる運動を積極的に推進していくことを目的に開催されています。

また、今回の開催が、県民一人ひとりが緑の大切さやその魅力を見つめ直し、緑を守り育てるための取り組みに携わる契機となることを期待できるものと考えています。



登壇し、一般質問を行う山本義一県議

山本議員 今回の「つどい」を一度性のもので終わらせることなく、今後、どのように緑化の意識を県民に波及させていくのか。都市整備局長 「つどい」の開催で期待される緑化意識の高揚を、県民に波及させていくため、「つどい」

### スクールソーシャルワーカーを増員

山本議員 スクールソーシャルワーカーの活用状況についてどのように考えているのか。教育長 県教育委員会では、各市町村教育委員会や各学校に対し、活用方法のより一層の周知を図っており、昨年度に比べて、学校や関係機関等への訪問回数が増えるなど、問題の解決に向けて有効に活用されているものと考えております。

山本議員 スクールソーシャルワーカーの今後の配置についてどのように考えているのか。教育長 県教育委員会としては、平成28年度は、公立小中学校の拠点校配置を、これまで5人から8人に、また、県立高校の配置をこれまでの2人から4人に増員する予定です。

開催の記憶をとどめていただけに、会場である柏の葉公園内に記念碑や功労者表彰を受賞した団体の緑化活動の取り組みなどを紹介する「つどい」コーナーなどの設置を検討いたします。さらに、毎年県立都市公園で行われている都市緑化の普及・啓発イベントにおいて優れた緑化活動事例を紹介するなど、継続的に緑化活動の啓発に努めてまいります。

また、県内の市町村は、さまざまな緑化推進に取り組み、今年度の成功に向け、オール千葉で取り組んでいきたい。山本議員 皇太子殿下と皇太子妃雅子様のご臨席を強くお願いしたい。県民にとっては大きな喜びとなる。大会の成功に向け、オール千葉で取り組んでいきたい。

●千葉県や八街市のご意見、ご要望をお聞かせください  
〒289-1116 八街市中央20-11  
TEL.043(440)7070  
山本よしかず 県議事務所 FAX.043(440)7030



# 新型は種、掘上機を試験導入

**山本議員** 落花生の省力化機械の実用化の状況はどうか。また、どのように普及させていくのか。

**農林水産部長** 県では、平成23年度から国の研究機関や民間企業等と連携して、省力化機械の開発に取り組み、今年度には、マルチ被覆を同時に行えるは種機及び、落花生を掘り上げながら反転させる掘上機が実用化され、産地への試験導入が始まったところです。

これら掘上機等については、本格導入が始まる来年度から、補助事業による導入支援や、県内5か所で操作実演会を開催するなどにより、速やかに普及させ落花生の増産につなげてまいります。

また、現在、開発中の収穫機や温風乾燥機などについては、できる限り早い時期に実用化できるよう、引き続き現地での実証等を進め、機械化体系の確立に努めてまいります。

**山本議員** 千葉県産落花生だが、作付け面積は平成27年度では5240ヘクタールと全国の8割を占めているものの、10年間で約1200ヘクタール減少した。また、昨年は天候不順の影響もあり、生産量の減少が著しく、販売量が減少するなどの課題を抱えております。

そこで、今後、規模拡大に向けた「は種から収穫乾燥に至る省力化機械」の開発、落花生と野菜との輪作体系の確立を図るための実証試験などに取り組んでいきます。

さらに、今後は、種子選別の手作業を、民間企業と連携して機械化することにより、効率的な種子生産体制を構築してまいります。

# 千葉特産の落花生増産へ 省力化機械を開発

**山本議員** 千葉県産落花生はその味の良さから、お土産や贈答品として県内外の多くの消費者から求められている。

このまま生産量の減少が続くと、生産農家やその落花生を原料にして加工・販売をする商工業者など、落花生にかかわる多くの地域産業が衰退してしまう恐れがある。

そこで、今後、規模拡大に向けた「は種から収穫乾燥に至る省力化機械」の開発、落花生と野菜との輪作体系の確立を図るための実証試験などに取り組んでいきます。

さらに、今後は、種子選別の手作業を、民間企業と連携して機械化することにより、効率的な種子生産体制を構築してまいります。



新開発のシーダーマルチャー



連続掘上げ反転機

**農林水産部長** 落花生は、機械化の遅れにより、他の畑作物との輪作体系に組み込まれず、生産量の減少が続いており、生産農家やその落花生を原料にして加工・販売をする商工業者など、落花生にかかわる多くの地域産業が衰退してしまう恐れがある。

そこで、今後、規模拡大に向けた「は種から収穫乾燥に至る省力化機械」の開発、落花生と野菜との輪作体系の確立を図るための実証試験などに取り組んでいきます。

さらに、今後は、種子選別の手作業を、民間企業と連携して機械化することにより、効率的な種子生産体制を構築してまいります。

# 看護師の県内就業促進

## 修学資金の貸付人数増員

**山本議員** 医療福祉問題について、さらなる看護師の確保に向けて、どのような取り組みを行っているのか。

**保健医療担当部長** 県では、看護師不足の現状等を踏まえ、様々な看護師確保対策に取り組んで参りましたが、平成28年度当初予算案では、看護師の確保に向けた施策を充実させたところであります。

まず、県内での就業を希望する看護学生に貸与する修学資金の新規貸付人数を、現在の500名から560名へと拡大し、更なる県内就業を促進します。

また、看護職員の養成力の強化を図るため、看護学部を新設する大学3校に補助をする予定としており、これにより、平成29年度から入学定員が240名増加する予定となっております。

今後、病院内保育所への支援等による離職の防止や、ナースセンターを活用した復職支援等も含めて、看護職員の確保を進めてまいります。

# 県、女性農業者を支援

**山本議員** 女性農業者への、どのような支援を行っているのか。

**農林水産部長** 本県農業を持続的に発展させていくためには、地域農業の振興や農業経営の改善、6次産業化の展開などについて、女性農業者が、女性ならではの視点を生かした取り組みを進めていくことが重要であり、その能力が一層発揮されるよう支援してまいります。

このため、県では、雇用管理など経営管理能力のレベルアップに向けた研修会や、作業場の改善など経営上の工夫に関する情報交換会、新たな加工品開発や販売促進に向けた実践講座などの開催により支援してまいります。

また、女性農業者の世代間の交流を図りながら、農業経営の発展と女性が輝く環境づくりを進めてまいります。

**再質問** 今後の品種の栽培技術を確立し、併せて種子の供給体制を整備するとともに、生産者や千葉県落花生協会などと連携し、生産・販売に係る戦略の策定などを行った上で、導入を進めてまいります。

**山本議員** 落花生の新品種導入に向けた取り組み状況はどうか。

**農林水産部長** 農林総合研究センターでは、食味が良く収量が多い新品種の育成に取り組んでおり、現在、有望な系統を1つに絞りこんだところであります。

今後は、この品種の栽培技術を確立し、併せて種子の供給体制を整備するとともに、生産者や千葉県落花生協会などと連携し、生産・販売に係る戦略の策定などを行った上で、導入を進めてまいります。

# 病児保育を推進

## 103カ所へ助成

**山本議員** 県内における病児保育事業の取り組み状況はどうか。

**健康福祉部長** 県では、病児・病後児等について、病院や保育所に付設された専用スペース等において、看護師や保育士が一次的に保育を行う病児保育事業を実施する市町村に対し、国の交付金を活用し、運営費や開設準備経費への助成を行っています。

本年度は、31市町、93カ所への助成を見込んでおり、来年度は、32市町、103カ所の助成を予定し、病児保育の推進に努めてまいります。

特に、女性の就業率が増加し、病児保育に対するニーズの高まりに配慮するため、さらに多くの施設で受け入れることができるよう、施設の設置について市町村に働きかけてまいります。

# 台湾による農林水産物輸入規制の早期解除を

**山本議員** 台湾による農林水産物の輸入規制解除に向け、どのように取り組んでいくのか。

**知事** 県ではこれまで、国に対し、規制の早期解除に向けた交渉の強化を求めるとともに、私自ら台湾を訪問し、早期解除を直接要請するなどの取り組みを行ってきたところですが、現在もおお、解除には至っておりません。今後とも、一日も早く規制が解除されるよう取り組んでまいります。

地域づくりを目指した県域の組織が本年6月、新たに発足する予定であることから、県としてもこうした組織を通じて、一層女性が活躍できるよう、支援してまいります。